

近現代史(15)「社会主義思想史」

○今回のポイント

資本主義社会の矛盾をどうすれば良いか？という答えの一つが社会主義であった。

○資本主義社会の弊害

資本主義経済



全体の目標のために能率的に管理・運営する仕組み



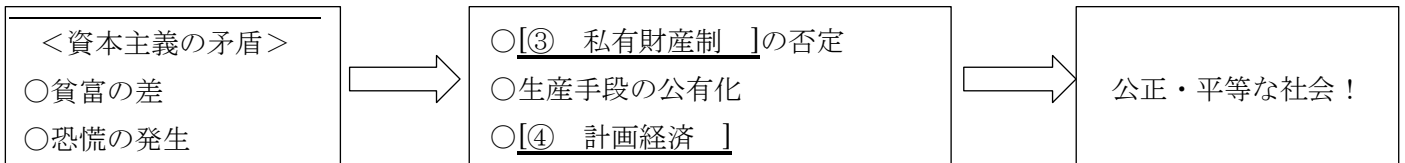
人間は組織のなかに歯車のように組み込まれ、管理される

(さらに使い捨て同然の契約社員・日雇いも出現「+私は社会の歯車にすまなれないんです+」)



① 自己喪失感 (自分の意志ではない何かに動かされている)・② 人間疎外 (感情や生きがいを見失う)

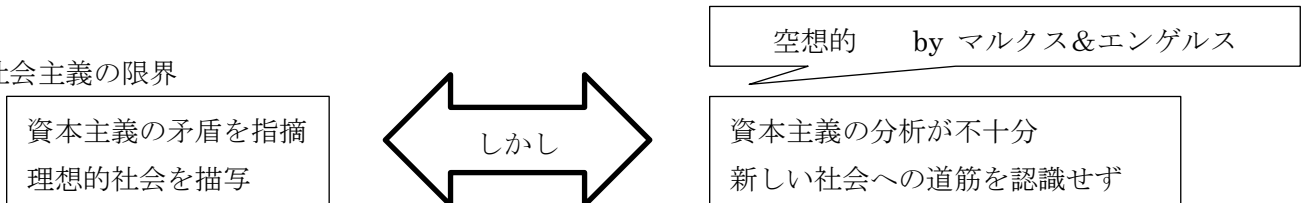
○社会主義の思想



○空想的社会主義者たち

- ・⑤ サン=シモン]…フランス革命の激動を生き、合理的に経済が統制された搾取のない産業社会の創設を主張した。王侯貴族や僧侶が支配する旧社会を批判し、資本家や科学者や労働者などの産業者が、自主的に管理・支配する社会が、人類を解放すると考えた。
- ・⑥ フーリエ]…商業の欺瞞性や資本主義の無秩序・無政府性と矛盾を痛感。サン=シモンとはことなり、産業が労働者を搾取すると指摘した。理想社会である協同組合ファランジュの建設を主張。
- ・⑦ オーウェン]…工場経営者。環境や教育が人間に与える影響を考慮し、労働者の福利厚生を整備したら大成功して有名になる。のちにアメリカで共産主義的な共同体「ニューハーモニー村」を作るが失敗し全財産を失った。それでもイギリスで労働組合運動や協同組合運動を指導し、労働者・婦人・児童を福祉に尽力。

○空想的社会主義の限界



○マルクスの思想

☆ 資本主義における人間疎外

人間=⑧ 類的存在
他者との関わりで生きる

- 労働による自己実現！！
- 労働による社会連帯

↓しかし・・・資本主義のもとでは労働が苦役に (⑨ 労働の疎外)

⇒ 社会変革=すべての人間の解放が必要

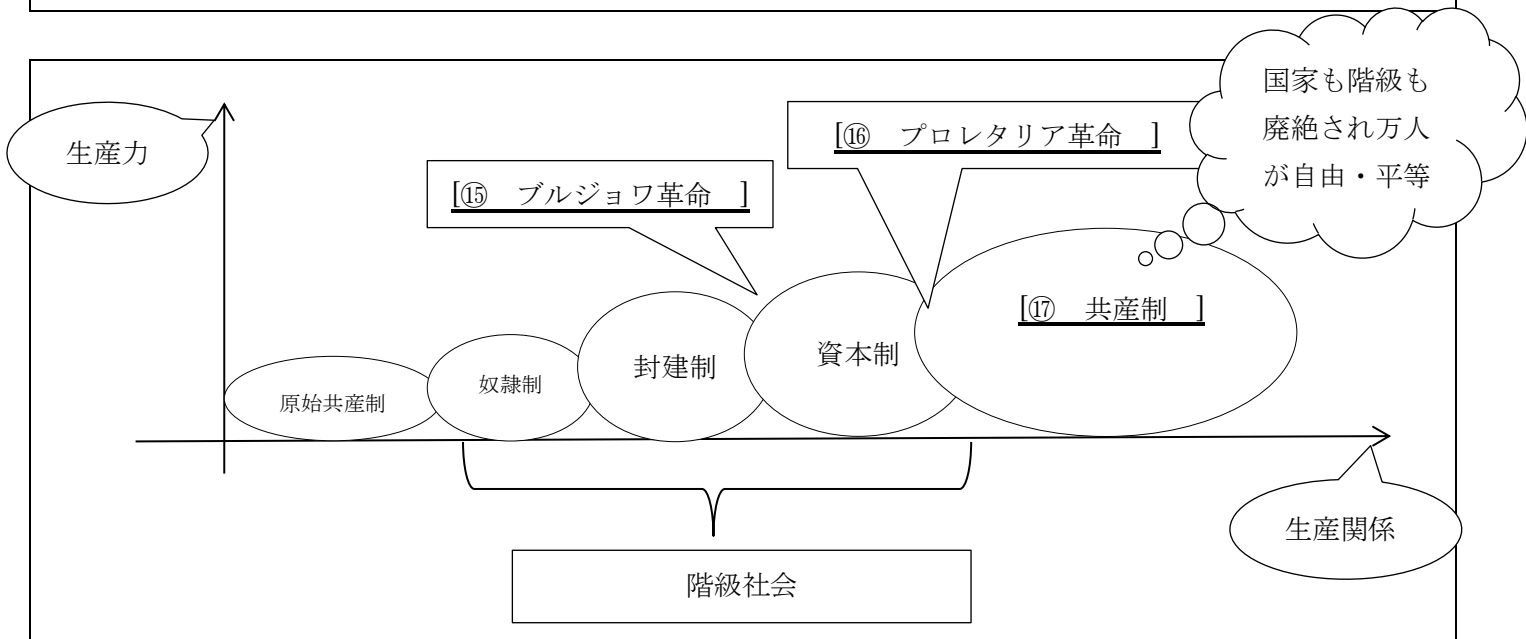
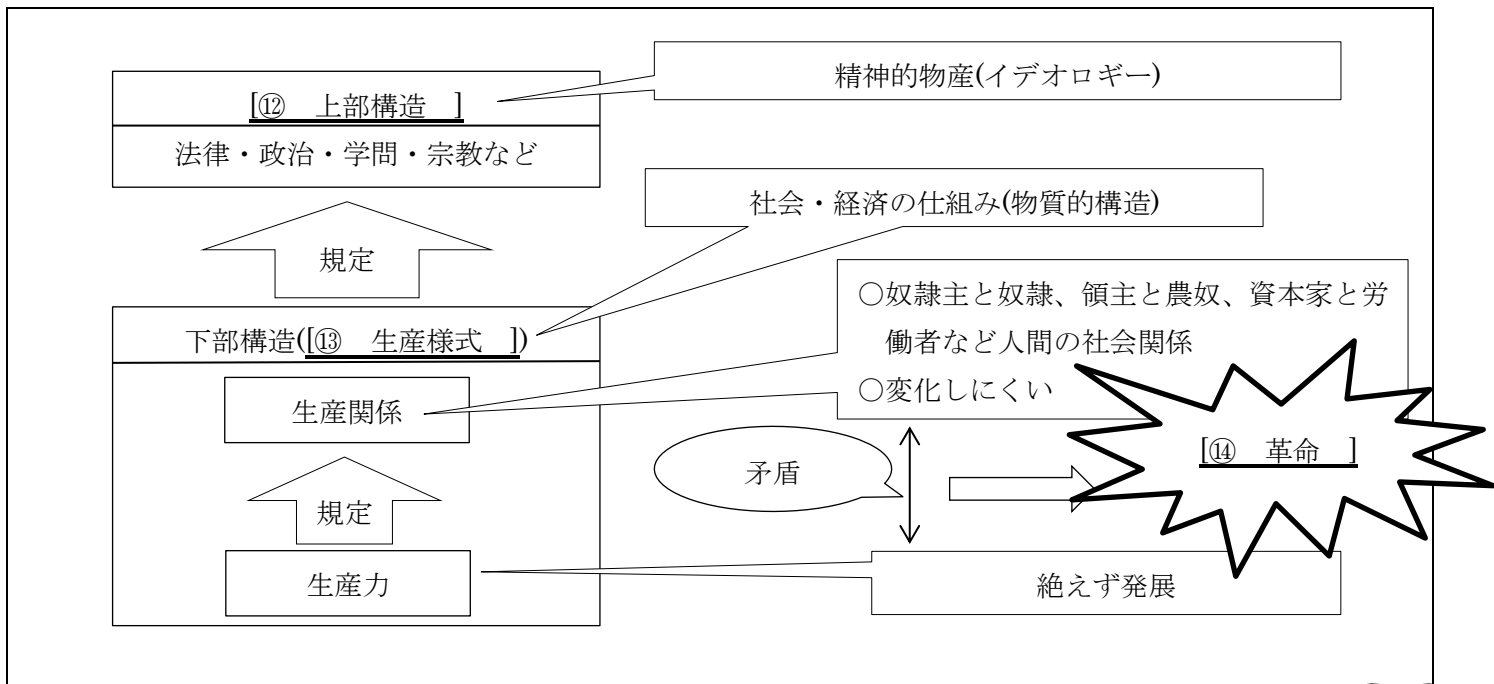
⇒ ⑩ 「万国のプロレタリアート(労働者)よ！ 団結せよ！！」

○史的唯物論

・機械論的唯物論…物質を世界の根拠と考え、精神は物質が感覚を通して人間の頭脳に反映したものとする考え



・【⑪ 史的唯物論】…現実の人間や自然から出発し、精神は現実の人間が自然や社会のなかで生きていく過程で歴史的に形成していったものとする考え



⇒新しい生産関係が成立すると、生産力は急激に上昇するが、各生産関係のもつ限界によって、生産力は次第に停滞する。この停滞は、階級闘争と革命により打破され、新しい生産関係が成立する。

☆社会主義と共産主義の違い

・社会主義は共産主義の低い段階だといわれる。この段階では国家が存続しており、

「⑱ 能力に応じて働き、労働に応じて分配される。」

・過渡的な社会主義を経て、国家が廃絶され高次の共産主義段階にはいると、

「⑲ 能力に応じて働き、必要に応じて受け取る」ことのできる

理想が実現している社会に到達できる。